

宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和8年第41週 (ARIのみ第40週) の発生動向

□ 全数報告の感染症 (41 週までに新たに届出のあったもの)

- 1 類感染症：報告なし。2 類感染症：結核 4 例。
 3 類感染症：報告なし。4 類感染症：レジオネラ症 1 例。
 5 類感染症：多剤耐性緑膿菌感染症 2 例、梅毒 1 例。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	40歳代	男	肺結核	咳、発熱
			70歳代	男	肺結核	なし
			70歳代	男	肺結核	なし
		都城	70歳代	男	リンパ節結核	その他
4類	レジオネラ症	都城	70歳代	男	肺炎型	発熱、肺炎
5類	多剤耐性緑膿菌感染症	宮崎市	70歳代	男	—	胆道感染症
		都城	80歳代	女	—	皮膚・軟部組織感染症
	梅毒	都城	10歳代	女	早期顕症梅毒Ⅰ期	その他

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

・定点医療機関からの報告総数は 422 人(定点当たり 24.8)で、前週比 115%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患は R S ウイルス感染症、A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱であった。

また、第 40 週の急性呼吸器感染症の報告総数は 1,230 人(定点当たり 43.9)で、前週比 130%と増加した。

【インフルエンザ】

報告数は 192 人(6.9)で、前週比 97%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値* (0.22) の約 31.5 倍であった。年齢群別は 15 歳未満が全体の約 7 割を占めた。

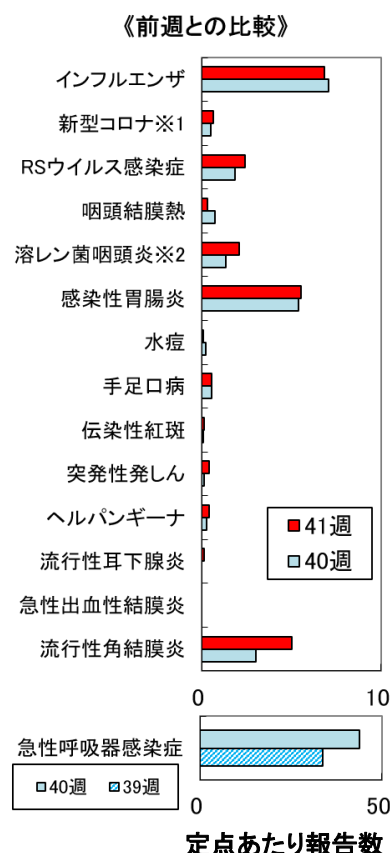
【A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

報告数は 31 人(2.1)で、前週比 155%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (1.5) の約 1.3 倍であった。年齢群別は 2 歳から 6 歳が全体の約半数を占めた。

【流行性角結膜炎】

報告数は 30 人(5.0)で、前週比 167%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (4.0) の約 1.2 倍であった。年齢群別は 20 歳代から 40 歳代が全体の半数を占めた。

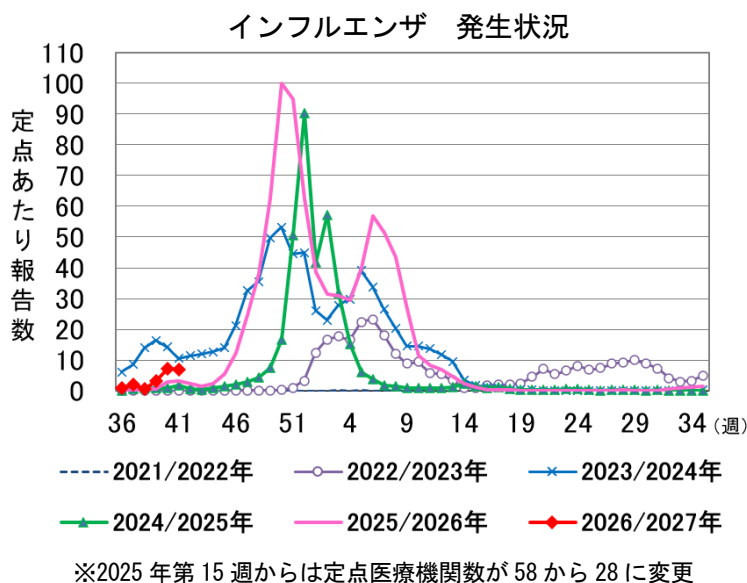
* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間 (2015—2019) の当該週、前週、後週 (計 15 週) の平均値



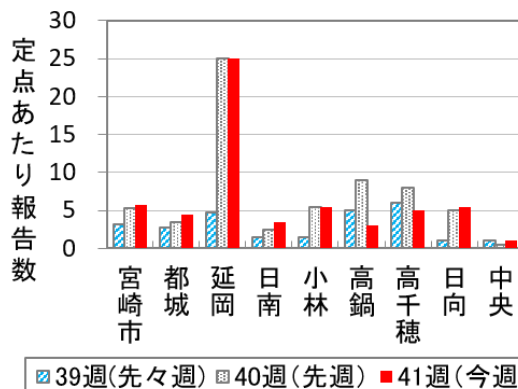
定点あたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症

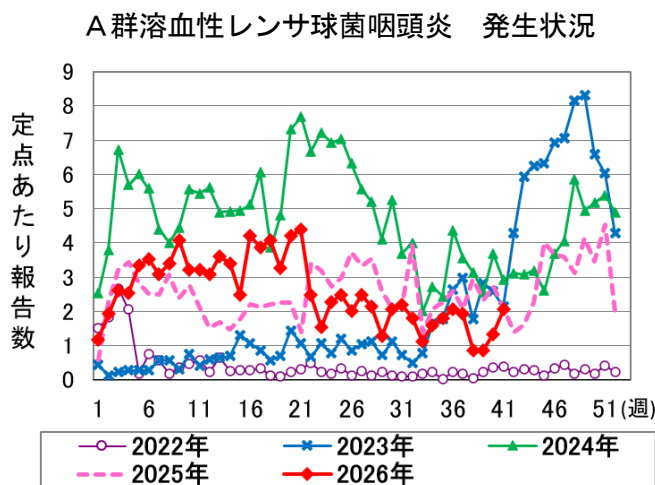
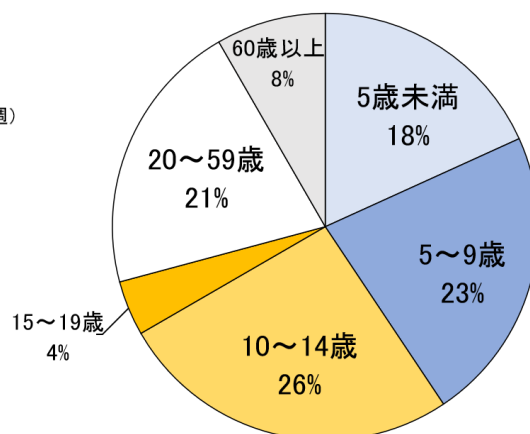
※2 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎



インフルエンザ 保健所別推移(3 週分)

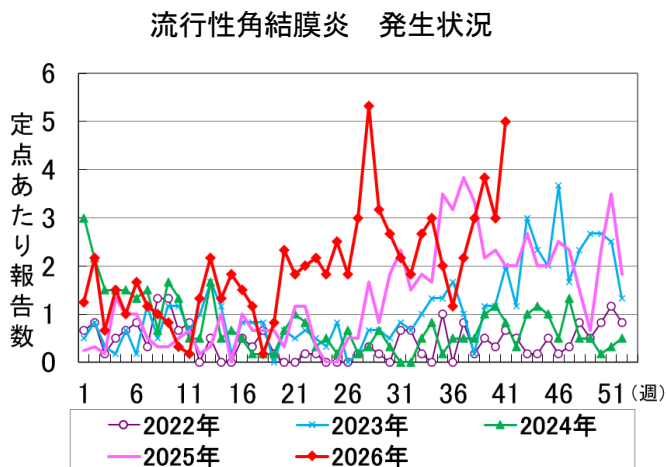
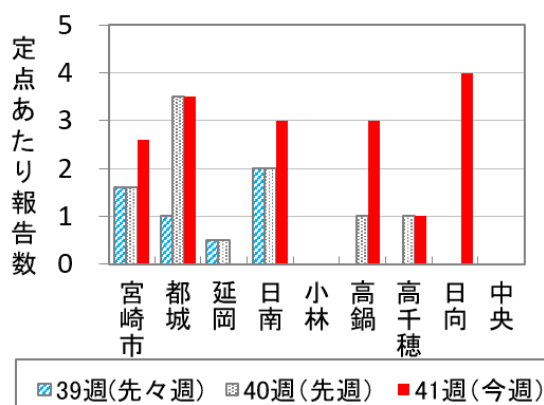


インフルエンザ 年齢群別グラフ(第 41 週)

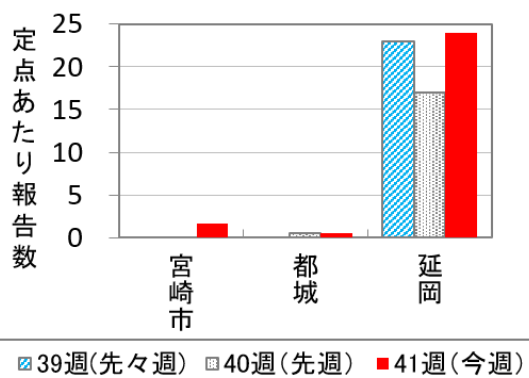


※2025 年第 15 週からは定点医療機関数が 36 から 15 に変更

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 保健所別推移(3 週分)



流行性角結膜炎 保健所別推移(3 週分)



※眼科定点医療機関は宮崎市、都城、延岡保健所管内のみです

★基幹定点からの報告★

○マイコプラズマ肺炎：報告数は1例(定点当たり0.14)で、宮崎市保健所から報告があった。年齢は5～9歳であった。

○クラミジア肺炎：報告数は1例(定点当たり0.14)で、延岡保健所から報告があった。年齢は0～4歳であった。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	インフルエンザ(25.0)、流行性角結膜炎(24.0)
日南	水痘(1.0)、伝染性紅斑(2.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

※流行警報レベル開始基準値※

- ・伝染性紅斑(2)
- ・流行性角結膜炎(8)

※流行注意報レベル基準値※

- ・インフルエンザ(10)
- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症(Acute Respiratory Infection: ARI)

(第40週:9月28日～10月4日搬入分)

検出病原体			検出数
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	3
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス			0
RSウイルス	A型		0
	B型		0
パラインフルエンザウイルス	1型		1
	2型		0
	3型		0
	4型		0
ヒトメタニューモウイルス			1
ライノウイルス			1
エンテロウイルス			0
アデノウイルス			0
インフルエンザウイルスAH1pdm09・ライノウイルス			1
検出せず※2			7
受付検体数			14

○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

(細菌・ウイルスについては 2026 年 10 月 12 日までに検出分)

★細菌

同 定 細 菌 名	年齢(歳)	性別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	同 定 日
<i>Salmonella</i> Putten (O13:d,l,w)	5～9歳	男	2026.09.01	発熱、腹痛、下痢	便	2026.09.14
<i>Salmonella</i> Thompson (O7:k:1,5)	5～9歳	女	2026.09.16	発熱、下痢	便	2026.09.30
<i>Salmonella</i> Corvallis (O8:z4,z23:-)	10歳代	女	2026.09.25	発熱、腹痛、下痢	便	2026.09.30
<i>Salmonella</i> Thompson (O7:k:1,5)	10歳代	女	2026.09.26	発熱、嘔気・嘔吐、下痢	便	2026.10.02

★ウイルス

報告なし

🇯🇵 全国 2026 年第 40 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	261 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	122 例		
4類感染症	E型肝炎	7 例	A型肝炎	11 例	エムボックス	5 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	つつが虫病	1 例	デング熱	8 例
	日本紅斑熱	27 例	日本脳炎	1 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	66 例	レプトスピラ症	5 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	6 例	ウイルス性肝炎	5 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	10 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	15 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	18 例
	後天性免疫不全症候群	8 例	ジアルジア症	4 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	10 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	22 例	水痘(入院例)	7 例	多剤耐性緑膿菌感染症	7 例
	梅毒	148 例	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	4 例
	百日咳	83 例				

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 148%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は特になかった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比 144%と増加した。

インフルエンザの報告数は 42,320 人(11.4)で前週比 158%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.31)の約 36.8 倍であった。沖縄県(37.1)、埼玉県(19.7)、千葉県(18.7)からの報告が多く、年齢群別では 15 歳未満が全体の約 6 割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は 7,373 人(3.3)で前週比 148%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (3.1)の約 1.1 倍であった。岐阜県(7.9)、大分県(6.1)、石川県(5.9)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 2,465 人(1.1)で前週比 186%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値* (0.60)の約 1.8 倍であった。群馬県(3.8)、静岡県(3.5)、神奈川県(2.4)からの報告が多く、年齢群別では 1 歳から 3 歳が全体の約 6 割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前 5 年間(2015－2019)の当該週、前週、後週(計 15 週)の平均値

月報告対象疾患の発生動向 <2026 年 9 月>

□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は23人(1.8)で、前月比74%と減少した。また、昨年9月(2.6)の約0.7倍であった。

《疾患別》

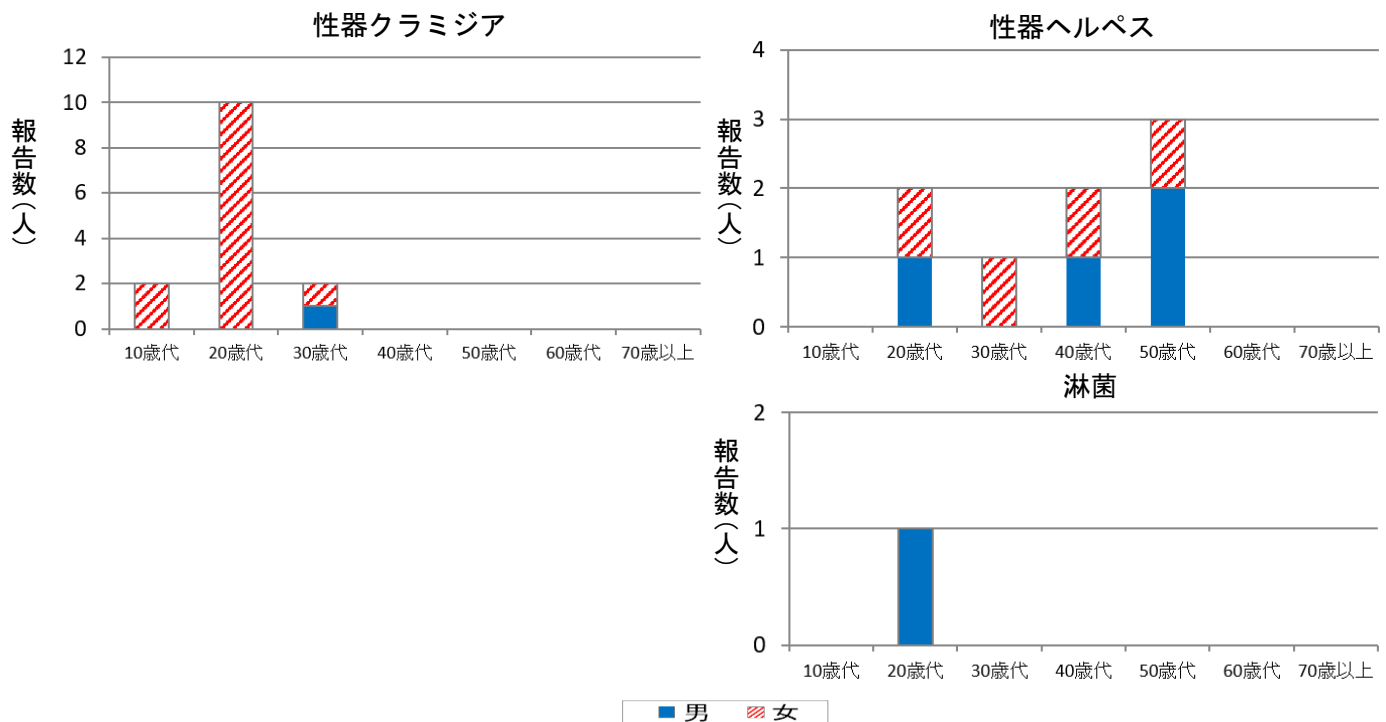
○性器クラミジア感染症：報告数14人(1.1)で、前月及び昨年9月の約0.7倍であった。

20歳代が全体の約7割を占めた。(男性1人・女性13人)

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数8人(0.62)で、前月の約0.9倍、昨年9月の約0.7倍であった。(男性4人・女性4人)

○尖圭コンジローマ：報告なし。

○淋菌感染症：報告数1人(0.08)で、前月の約0.5倍、昨年9月と同率であった。(男性1人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,314人(4.4)で、前月比103%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,281人(2.3)で前月比105%、性器ヘルペスウイルス感染症937人(0.96)で前月比103%、尖圭コンジローマ486人(0.50)で前月比98%、淋菌感染症610人(0.63)で前月比100%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は19人(2.7)で、前月比91%と減少した。また、昨年9月(3.0)の約0.9倍であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数19人(2.7)で、前月及び昨年9月の約0.9倍であった。70歳以上が全体の約7割を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,314人(2.7)で、前月比102%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,297人(2.7)で前月比103%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症17人(0.04)で前月比67%であった。

疾病名		第40週	第41週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	198	192	52	18	75	7	11	6	10	11	2
	定点当り	7.07	6.86	5.78	4.50	25.00	3.50	5.50	3.00	5.00	5.50	1.00
新型コロナ ウイルス感染症	報告数	14	18	2		4	1	5	4		1	1
	定点当り	0.50	0.64	0.22	0.00	1.33	0.50	2.50	2.00	0.00	0.50	0.50
RSウイルス 感染症	報告数	28	36	19	3	1	4	6			2	1
	定点当り	1.87	2.40	3.80	1.50	0.50	4.00	6.00	0.00	0.00	2.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	11	5	3					1		1	
	定点当り	0.73	0.33	0.60	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	報告数	20	31	13	7		3		3	1	4	
	定点当り	1.33	2.07	2.60	3.50	0.00	3.00	0.00	3.00	1.00	4.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	81	83	20	9	8	5	19			19	3
	定点当り	5.40	5.53	4.00	4.50	4.00	5.00	19.00	0.00	0.00	19.00	3.00
水 痘	報告数	3	1				1					
	定点当り	0.20	0.07	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	8	8	5								3
	定点当り	0.53	0.53	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	3.00
伝染性紅斑	報告数	1	2				2					
	定点当り	0.07	0.13	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	2	6	2		1	1	2				
	定点当り	0.13	0.40	0.40	0.00	0.50	1.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	4	6	2		4						
	定点当り	0.27	0.40	0.40	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数		2			2						
	定点当り	0.00	0.13	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性 結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	18	30	5	1	24						
	定点当り	3.00	5.00	1.67	0.50	24.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数	2	1	1								
	定点当り	0.29	0.14	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数	1	1			1						
	定点当り	0.14	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2026年 第40週(09月28日～10月04日)

		第39週	第40週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器 感染症	報告数	946	1230	373	144	196	94	117	93	49	98	66
	定点当り	33.79	43.93	41.44	36.00	65.33	47.00	58.50	46.50	24.50	49.00	33.00

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2026年 第01週～41週 保健所受理分)

2類感染症	結 核	108例(4)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	49例				
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	3例
	つつが虫病	4例	デング熱	1例	日本紅斑熱	10例
	レジオネラ症	14例(1)	レプトスピラ症	1例		
5類感染症	アメーバ赤痢	2例	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2例
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	9例	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1例
	侵襲性肺炎球菌感染症	11例	水痘(入院例)	7例	多剤耐性緑膿菌感染症	4例(2)
	梅 毒	53例(1)	播種性クリプトコックス症	4例	破傷風	1例
	百日咳	55例	麻疹	1例		

()内は今週届出分、再掲